



# 園部共同作業所 だより



園部共同作業所発行  
〒622-0011  
船井郡園部町上木崎町入道32  
0771-62-3249  
FAX 0771-63-2941

NO 55

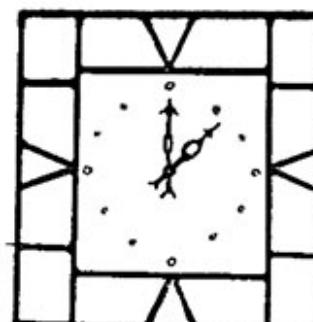
さりがとう是恒  
やすらかに恒  
ありがとうは  
神の保有

は女か方あなてでの柱時時作ないのい借氣委に会障にそしして郡なさのろ来大つと衛ニ健的  
つがくへりくい仲時に計計業んた実なりが員共害動れみぶ実精ひかし訪う何学で彼生と所ほ障私  
ば園で行是京る間計掛をを場に。續いてつ会同を者きかじりに神さつぶ問1年のき女相にへど害の  
み部年つ恒都。のはけ寄持にもあづ通、けを作結家だらみで運保したりに。が同たが談な隔亀者職  
と町月てさ府そ作現て付つ彼なるく所まは作業成族し彼思あ命健ぶ。私また級「あ員り日岡施場  
なにはしん人れ業在いすて女い日り者だ私所し会船女つつの福りしとはつ生彼いのまにと設「  
りま流まは事かをもつるきは殺そにと3はて設、「井はてたな社」かしやたて「女さ是し勤八」亀岡  
今いれつ宇異ら見作。わて大風の励作名民立船つ郡精いなにはしかくい卒とつで務木へ  
でた、た治動間守業、き景未ん業し家た準井ぼ精力るとひと船こ言「突た業私に精す両  
は種彼。のがもつ場こと私ななだで所かを。備郡み神的。さつ井のえひ然だ以はや、神る保こ知

恩と井に原とよ時出後れ口て駅送に話て界こしそ注テン自所年んく世と空と日職度とびン部癖いり花ム作  
人つ郡やス点言「計來のがへねでつ耳しなにれくし文ンし身にのなれ間書けき々ののこりド作はま難をと業  
でて園。テにつ船がた別私消」てにてい一がはてしドたがや一超まはいるにと礼新ろ暮グ業、すう咲い所  
すも部私ン戻て井二よれとえじ「出い残い時品完し彼てグオ色つ○忙せ彼てこはな状縁がらラ所仕。みかうや  
。是共にドつい郡個ではてや来つた計、成や女くラリもて月しん女あと週りにの「すスに事さんせ大グ  
忙恒同とグてたは泣し恒い」たたてのや私しいとれスジ型きにいでをりも三講は候平わを通辞てなまきル  
しさ作つラきや私いにたさつ「ら」いがなしただしまのナもて園彼し休まあります日義、に成、習つめ彼感しな  
すん業てスてろのて來。んたと連Rまいから調てし時ルデ、部女たまし京が忙1でいてた女謝た立普  
ぎは所もやーー原いて時の改絡園すまと持「はた計なザ彼作が。せたます都多しの5のスらのし。派本  
た大に船ろ緒。点る。計最こ札し部。だ、つ世、珍。をスイ女業昨そて。、をいい退年。んテ園口て有なー

た三話な各さた本時結月思全副がし十  
。月にり方ん保年は成にえ員会会た三船  
御になま面や健三杉さ船ばで長長。日井  
冥亡つしの行所月山れ井昭決・に新に郡  
福くたた方政のに作ま郡和定会、し總つ  
をな是。に・相亡業しに五し計垣く会ぼ  
祈ら恒大御社談く所た家十まに村西がみ  
まれさ変世協員な所。族八し出さ山あ会  
ままん御話関是ら長そ会年た席んさり四  
。しは世に係恒れやのが四。者がんま月

しり二つ  
た。が○  
と年ご  
うご  
ざい力から  
まあ



合だね  
園掌さ  
いゆ  
つくり休んで  
ありがと  
う。  
所長 杉山俊夫

貸さとくたたば会はし勉助途授グ工友まやっこつ半學クあだ施は健出お全少と親てたし府にたを惱の家小中ん会当  
家ん相れ時ちみ長京た強さ上産ル場にし食くのて袖さりるき設仏所し願家しはといめて家会。み人を生南の長時  
がの談るにも会に都。されに施1が行た事り人いシセ「麦まを教、まい連で遅したに精族長昭長やは廻とさ車と中  
あおが所娘年一な府平してあ設アキ。のし  
がるヤてニのし見大杉しに「もれてだお神会と和時、誰り一んでし南  
り世あがをを会り家成ているがホリマ島作ま障當ツいん里た学学原た行行よて「き手障連な六間困にま緒、各、会  
ま話りなあと員ま族五いる障あ、「し根業し害事をたグ福。さ講相。き政くい他又伝害合リ十話つもしに片家杉長、  
しで杉い、ずりかし会年たの害りム援たにをた者者着だ作祉和せ師談又要闇なるの障い者会、二さて話た各山庭山  
た新山とか入らた連五だを者、「護。あし。かをてい業工歌てと員園望係る制障害を支理又年れいせ。会さ訪所小  
。し所るつ院自。合月き見を回通寮パるて印と見頑たを場山い他現部書に様度害者さ援事京五まるな家員ん問長生  
女い長、てし分つ会にまで援復所「ソ柔い刷びて張、見のにたの在保ももにを者のせのと都月し事い族の「をさ副

申ごか微に頑メたに全こわめと金トそ井府業金りす去回り入井で世し全らがき女と母しで私母たるさた女らの  
し支げ力つ張ド。大国とりで一はツう郡下所作ま。さ復ま院上す界い国専あでの思親か母のさ。んがのうム子  
上援ででぼつに平成大でまし層私ブめ家のへりす心れさしさ会る大と大務りす子いにつ親息んケとが「子たをだ  
げ頂やしみて法成功会ごしたのどでん族皆のに。よまれたれ長と会、会理そ。はまはたに子がん言死女にめ作け  
まきつた会い人十に、ざた。充もしの会様協、全りしる。私がのも又を事の近おす何と生で大力つんのも杉りの  
す。心てが会ま化七終世い。大実のた売、の力家国御たこ井が交事同全開が時畿母。で言きも好てだ子言山生グ  
城島幹夫 よき皆長すの年わ界ま有成を組。り作援と族大冥。と上会通で時家催こ全ササ男もいて私きし駄らはわ所活ル  
りま様と。た四り大しり功図織活上業助、会会福残な会長事しに連しら家ミンの話まいがでて目入一れ長し  
おた。おたのし最め月ま会た難にる強動げ所で京、のを念く長と故た京かてれ連ツが子せすて死すもで寮おまよて  
化資はの船都作資折で死はなで。都ら欲「かト好やる。ほん。おしす母しりもホ

## 花見

るもがみを田メ言影ツていン速なりたてたうた生た先やもとな当ル當木たし先くみレ地こく開き所ンさ見谷いとみ集ん切哲ラツをク杉まばい、を、樂、一んは、生、つ言銘ををとの、て生降んンへらさでま長バんに川ま四いんまなつさマてしに山し、メと歩桜し食とやせ食にととつ々頂頂お下すしかりなタ着れん、しの、の行とし月いなりのてんもまみ先たとんてきをみべおかつべ注松、てのきき茶でこばらてお力くての他た杉と共きいた三なでまに下が長玄しん生、にバもま見、てつらかた意本ゆもペまみのバしら人とれ、といおの。山職同まうが日とこしこさシ岡人たなかし別、足しな両樂し、く後を先つ私、しんペスしく数所いのいま花所桜先員作し所、空思こたやいヤさ肌、でらばれとがたが側しや花花、受生くはスたなツのて歩の長を運つし見かの生の業たま亀はいに、かまツんのな記桜らて遅速、らにみいを見杉けやり早で、ト時大き確の言転もたのら花と先所、で岡曇ま来來なたと名ん念をくしいくみ川咲、ま見に山ま塩食食なみおボにきま認杉い手乗、方もはで方、生のたおのつしれ年暦。1石力と撮バしまメ、んべい見しよ来先し内ベいつん弁ト弁なしを山早に現がた満行、めく花七て



吉田知子

しれこ本れ平日をたべラ戦い方事た事人すんこ様輩いこ方う歩たな間桜てい氣い日ばこのま和本持事るク争まにをいを、とにをくつでかけ。いはのもろが心でとろすののつがもでがしおおと大「こどを園見真こす何る二よな花とあしにし心良一。乱国たあのはあた礼氣思切一れう祈部習攀つがかと本うらのつります触たにく人これの戦りも戦り。い遣いに入かかつ作いなと、宗いのななよてます。か花、これがよ争まな争ま日いいまし、未て業、姿作、教う大気くうもし、な桜み見、かようもすぐをせ本た下すが、も熟やが桜勢業か、ば感切がてなやた花がのしが人らくにあ。こしんのいさ、も元、なみ栄のををらい謝なしは心さ。はらやめで、も見心は武まで、國とつ体ら気お私まえ花諸しも言と足まいにしとい：さたきが日らの、器つ食イは思たのいなーでせるの先で、いいでしけ人いつろ

し何皆につし分で紙チすの夕があピン言打なとドるしまあ当が始取事がが穴備いにいミのもみにお都仕し節練人敬くていがいをを、ひ方回りんもつちのなをこますいであまつがずこを作きよろへ仕あとは仕の事て限今習か遠いや作うき底つそとのり、のいてがでり貼とい、たピリり手大れのあ業まりい原事ふな、事下を保定、しのし事ら業ままにけしつ掃にこ先まい、す、りも、時所ン、まを事な場けとす、ろ板はれりそで請し冷の作て人てもなでくす入るてと除飛れをする好がなな：血々にをそす付でい合てし。完なは、る時のすけてバ作業もにしあい、出がれ為次な当びも切。メキ、かがバを指付打れがけす様、おて初成作板一程に材。業いッ業所らはまつとそ来、、につ番散切るそんでこならんにをけつぞ、る。に穴くアメ品業型枚では料こ者まクのでい、い、てたれず底たぼはて泣つり作のバすのかのドじつてれ、作そあのルににの、のす廊がのかすを一はまたまたに、のた、いかでカ業後、ビ大作エまいい穴のと業しけ位でミ、し手をア、下山時ら、作つ、す。戦。み立難部んルマませ、スが、さとん変業イせてきの担Bがてる置すに準て順、ルそに積期の京ると季

## と保冷パックの作業

し皆あ中四星浜でま族ク明ま会た大那き南  
たつりで時食のしし館ジ朝しし五き智ま紀  
かま眠間ベトたたでラホたて時いのし勝  
れしらかまレ又可初博テ、露に滝滝た浦  
てたれかしトバ愛め物ル、天旅でへ  
帰つてりたレスらて館を、一泊  
い、市にしラ見出、風館感行  
るバ帰場のい、てて、呂に動き  
方スリでり動コ、大入きました  
もの、白物見水地、入しました  
り宴した

## 南紀勝浦の旅



張メな他品夏納ールバいもこ  
ツンがの日期品〇をツまたの  
てバラ作も限の〇貼クすた作  
お、業決定状枚つの、ん業  
りみ作とま品態箱で型こでの  
まん業のつなに詰、にのく時  
塩。な所事てのしめ五し様れは、  
内、毎でもおでまし本、にる、  
文、日は考り、すて組シし人い  
代、頑、え、納。、を、てもつ

内藤富子



## 匿名寄付金

中匿城神大澤  
川名島谷浦田  
京幹み  
子様夫つ文  
子様  
米様  
様  
いちご  
菓子  
菓子  
菓子  
菓子  
ケ  
子キ

二月二十日  
平成二十六年一月五日

四館那伊  
花月見智勝  
見三学の浦泊  
見、日  
滝温研  
の旅  
太地  
くじら  
七谷川へ

三て流バ  
ノ所  
会ザス石発ジグ  
月で知新月  
会テ田表ユラー  
館一  
コ出ン哲会ニ  
ス展ドん  
モ園グん  
ホ部ラ  
一国ス  
ル際作  
に交品

一年一月  
ぜんざ  
山春一  
サボン  
ケイブ  
一月  
五日  
九日  
日  
所にて  
パティ(新  
音楽  
スピ研  
ア究

## レクレーション

す理て病な体し所調イ  
やも院、がま以を、今  
我らへとだい来くク年  
慢い行感るま始はずはの  
はまつじいしめし、ゴ  
健してた、たて、す、  
康よ検らし、寝作つる  
のう査、ん皆込業かデ  
敵、をすど様ん所リン  
で無しごい身で開体ウ

## 編集後記